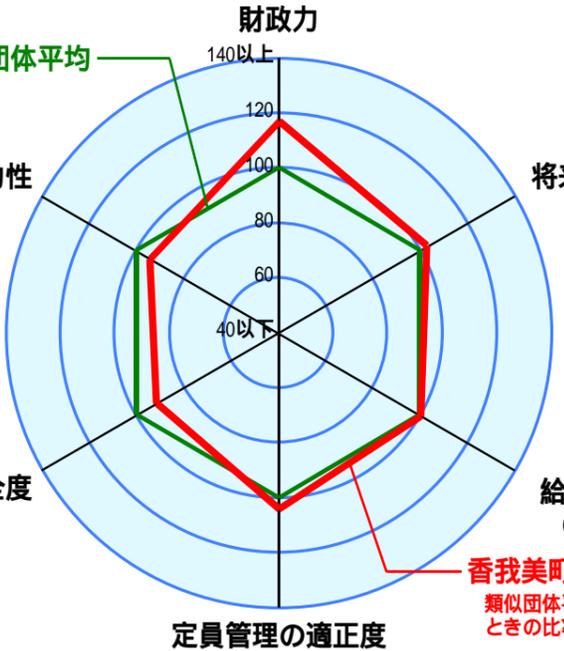


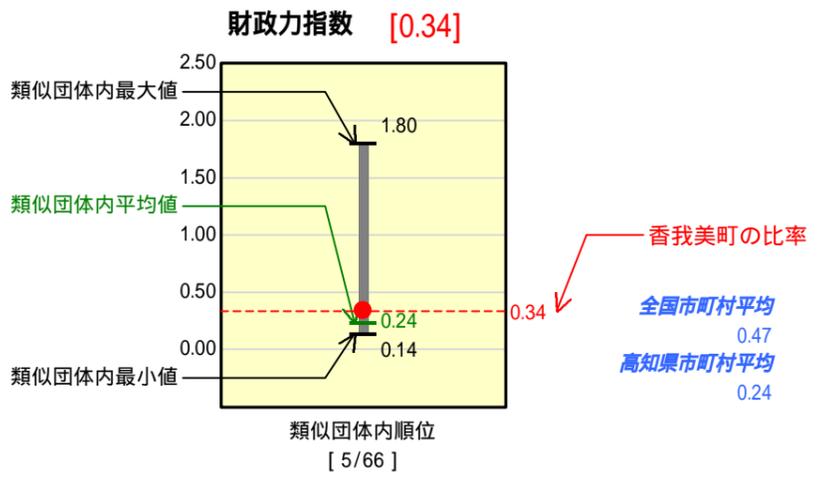
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

高知県 香我美町

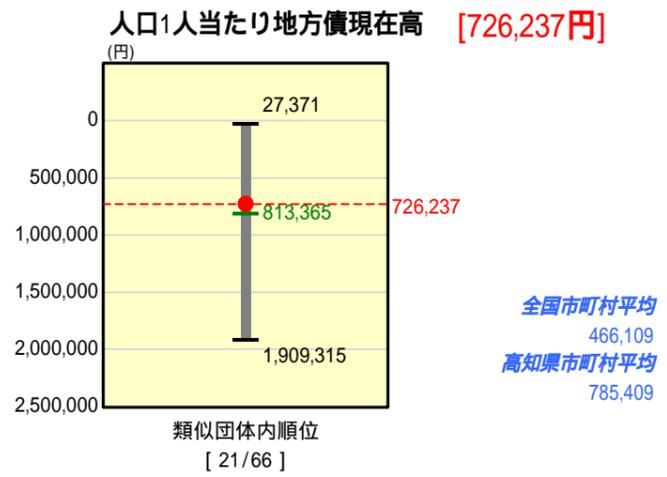
人口	6,449 人(H17.3.31現在)
面積	58.89 km ²
歳入総額	3,140,747 千円
歳出総額	3,030,239 千円
実質収支	96,347 千円



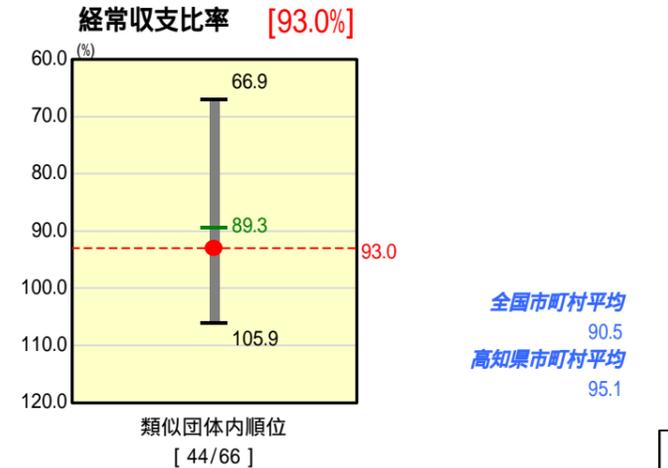
財政力



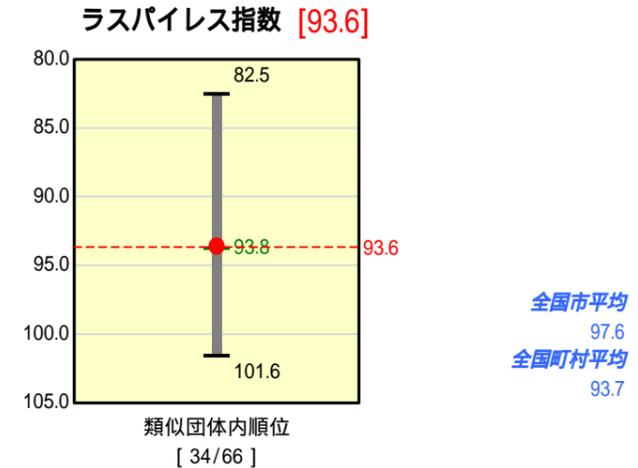
将来負担の健全度



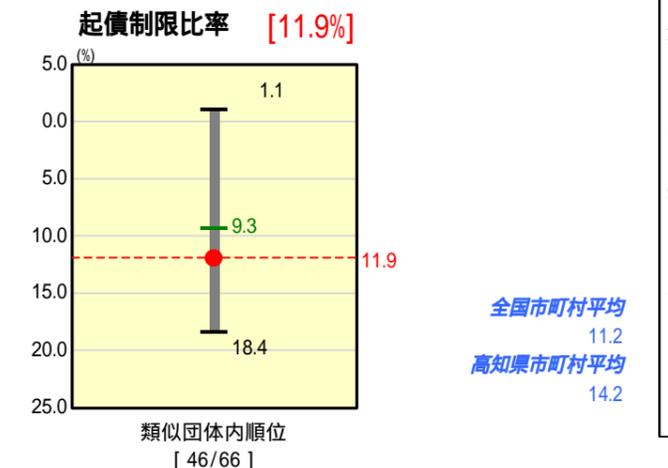
財政構造の弾力性



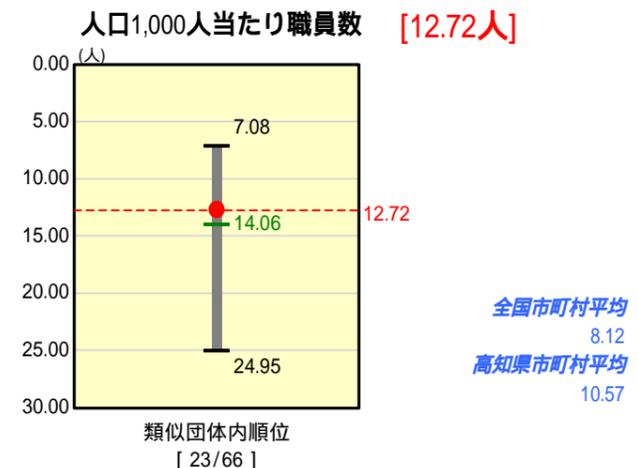
給与水準の適正度 (国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

香我美町では国の三位一体の改革により普通交付税の大幅な減額に加え近年税収が(5年間で96百万)ほど落ち込んでいる。このことから平成13年から職員給与のカット・退職者不補充・消耗品の削減・補助金の見直し・普通建設事業の抑制など行財政改革に取り組んだ。

【財政力指数】
・香我美町では平成11年から普通交付税・税収入を合わせて2億6,000万円の減額になっているが5年間ほぼ変化していない、これは歳入の減額に伴い財政改革を行い歳出の削減を行ってきた結果となっている。

【経常収支比率】
・分母である普通交付税・税収入などの歳入が2億6,000万円の減額になっているが経常的経費5年で2%の上昇に留めている。

【起債制限比率】
・平成13年度から普通建設事業の抑制を行ってきたが償還ピークが平成16年となっているため全国平均より低いが、こりから大きな事業がないことで下がっていく。

【人口1人当たり地方債現在高】
・高知県平均では低いほうだが全国平均から比べるとはるかに高くなっている、起債制限比率でも述べたように平成13年度から普通建設事業の抑制を行ってきており徐々に減額してされる。

【ラスパイレス指数】
・職員給与のカット・退職者不補充などをおこなってきたためほぼ全国平均となっている。

【人口1,000人当たり職員数】
・平成11年度から行政大綱の中で定員管理計画を立てて職員退職者の不補充などにより5名ほど減員するなど適正化に努めてきたが、人口1,000人当たりとの一定の定規で当てはめたものでは、規模が小さな自治体は住民サービスの低下を最小限に抑えながらやり繰りしなければならないので、この表で適正化の努力していないとはいえないのではないだろうか。